出雲医療生協の2017年度まとめ及び2018年度重点の骨格を発表します！

すこやかNEXT
2018年
4月すこやか増刊号
発行
出雲医療生活協同組合
〒693-0021
出雲市塩冶町1536-1
TEL（0853）21-2735
ホームページ
www.izumo-hewcoop.jp

第12回総代会（6月22日）にむけて理事会で「まとめと重点課題」（第１次案）を発表しましたのでご紹介します。

標題　2017年度の活動のまとめ（ポイント）

出雲医療生協の設立 10 周年を迎えた年として、医療生協の役割を学ぶ機会となりました。また事業所と支部では、「健康で、安心できるまちづくり」という地域包括ケアを進める活動にいろいろ取り組みました。

事業分野

①出雲市民病院では「無料低額診療事業」を開始しました。収入が少なく、医療費が払えない方に、無料または低額で受診できる国の制度の認可を受けました。困っている方へ支援する取り組みを開始しました。これまでに数名の方の利用がありました。

②リハビリテーション病院では、内科医師を迎え、リハビリ医療のレベル向上に努めました。また介護保険改正による総合事業を支えるため、地域での介護予防などの活動にも協力の活動を広げました。

※リハビリ病院での畑づくりの企画

③大曲診療所では、在宅医療を引き続き取り組みました。

④訪問看護ステーションを1個所に統合し、新たな「出雲看護サービスセンター」として再スタートしました。市内で最大の事業所となりました。24時間365日対応ができる体制で活動を進めています。

⑤在宅支援センターを移転新築し、3月より出雲市民病院の近隣で事業を開始しました。訪問看護、居宅支援、有償ボランティア虹の事業所です。4月より院内保育所「おひさま」も1Fに開所しました。職員の就労支援として活かします。

⑥地域包括ケアを支えようと、市民に向けたリハビリや栄養指導などを組み合わせた活動や、フレイル（虚弱）予防のための企画など数多く取り組みました。専門職員が関与する企画として好評でした。

健康づくり・まちづくり

①生協設立10周年を記念した「健康フェスタ」を開催しました。事業所を中心とした健康企画や支部からの出店などで楽しく交流ができました。「すこしお」活動として企画した「すこしお醤油」、「すこしお味噌」、「すこしお弁当」は全国的にも話題となりました。

②支部での「見守り活動」への参加や、地域の状況を知る「つながりマップ」づくり、住民の中の課題（町内会の負担問題）などを出雲市と懇談する取り組み（大津支部）など活動内容がアップしてきました。機関誌「すこやか」を通じた対話が大事だとの声を多く頂きました。

③支部主催の健康づくりや、介護問題の学習会など様々な取り組みが広がりました。また組合員だけでなく地域にむけても呼びかけを広げています。

④チャレンジ健康づくりの取り組みは過去最高の３６１８件になりました。この取り組みを健康づくりに活かそうという方が増えています。楽しく、マイペースでできると好評です。（図１）

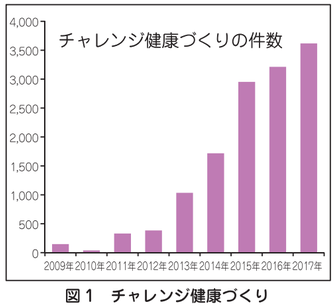

図１　チャレンジ健康づくり

健康教室（ＡＥＤ講習会）

組織づくり

①出雲医療生協設立10周年を記念した「記念式典」を開催しました。全国的に生協という組織が重要な役割を担っていることを学びました。

日本生活協同組合連合会
顧問（前会長）　浅田　克巳 氏

②班会活動の開催数が大きく伸びました。班会を毎月開催し、交流をされている班が伸びています。２０１７年度は過去最高になる見通しです。班会参加を楽しみにされている方が増えています。（図２）

③秋の「生協強化月間」で組合員増やしと増資活動に取り組みました。期間中に組合員３０７名、増資１３６８万円ありました。組合員増やしは前年に届きませんでしたが、増資は前年度を超えました。

④組合員の高齢化の中で、法定脱退（死亡）の方が増えています。一方、ゲートボール、グラウンドゴルフ大会や、健康企画などを通じて新たな組合員増やしの成果があがっています。

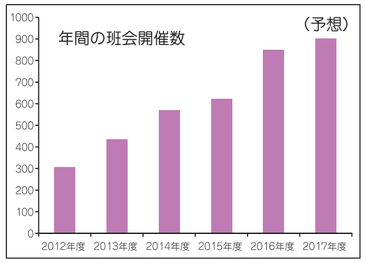

図２　班会開催数（年間）

社会的役割を担う活動

①出雲市や社会福祉協議会、他の生協団体などとの連携や活動交流の機会を増やしました。出雲医療生協の活動について認知されつつあります。

②憲法改正の議論が社会的にある中で、憲法そのものを学ぶ学習企画を開催しました。ひかわ医療生協と共同し、３３０名の方の参加がありました。

「憲法学習会」
八宝亭みややっこさん
（飯田美弥子弁護士・東京）

2018年度の事業計画案（ポイント）

メインスローガン

協同の力で、いのち輝く社会をつくろう!
医療生協の「地域包括ケア」をめざして、3つの「つくろうチャレンジ」を進めよう!
憲法が生きる平和な社会をめざして、学び連帯を広げよう!

※この計画案は骨格です。今後、総代会にむけた事業計画書（案）として仕上げ、総代の皆様に事前に送付致します。

事業分野

診療報酬の引き下げ、介護報酬の改定がありました。全体としては厳しい改定となっています。新たな基準を取得できるよう検討します。

①出雲市民病院
地域包括ケア病棟を中心に、入院受け入れから退院までのサポート及び介護サービスとの連携を強化します。他事業所の連携も広げます。

②出雲市民リハビリテーション病院
回復期リハビリテーション入院の基準をアップさせます。リハビリのレベルアップと増収を図ります。

③大曲診療所
在宅療養支援診療所として、在宅療養の内容の向上をめざします。

④在宅支援センター、訪問看護、ボランティア虹
困りごと相談の取り組みを周知します。訪問看護の利用者を一層増やします。有償ボランティアでは支援者を増やしつつ、支援の輪を広げます。

⑤経営対策の強化、今後の事業ビジョンづくりの推進
診療報酬の3回連続のマイナス改定で経営が厳しくなっています。
財務強化の中期計画づくりと今後の事業構想の検討を継続します。

健康づくり・まちづくり

①健康づくりの取り組みを「出雲医療生協のブランド」となるよう取り組みます。

②「フレイル（虚弱）予防」、「認知症予防」、「すこしお」の取り組みを広げます。

③機関誌「すこやか」を「見守り」と「対話」に活かします。

④「つながりマップ」づくりを支部の実情に応じた取り組みとして広げます。

⑤出雲市の地域包括ケアの体制（地域版）に、可能な支部で参加をめざします。
また社会福祉協議会や敬老会、婦人会、助け合い団体などとの連携を進めます。

⑥有償ボランティア虹の支援者を広げ、支援の輪を広げます。他の助け合い組織と連携します。

生協の組織づくり

①地域の中で、出雲医療生協が「見える」、「見せる」活動を進めます。

②組合員増やしと増資の取り組みを強化します。高齢組合員の方から若い世代への引継や継続を強めます。

③「すこやか」の郵送料が値上がりします。配達世話人となれる方など、医療生協の活動にご支援を頂ける方を増やします。

④身近な町内の課題などを支部、班でも意見交換を進めます。

社会的役割を担う活動

①組合員さんや地域住民の方から、「困ったこと」の相談がある場合の対応できる体制や仕組みを具体化します。

②出雲医療生協の地域包括ケアの取り組みを統括できる体制を具体化します。

③憲法の平和・民主的条項の改正の動きに留意し、日本を再び戦争ができる国にしない運動を広げます。原発依存から脱却し、自然エネルギーに立脚した社会になるよう運動に参加します。

④政府の高齢化、人口減少社会を口実にした病床の大幅削減、患者負担の増大などを許さず、安心して医療・介護・福祉が受けられる社会をめざして全国と共同した運動を広げます。

（解説）日本医療福祉生協連の「3つのチャレンジ」
地域包括ケアを進める上での活動。「つながりマップ」、「居場所づくり」、「生活圏での支部づくり」を重要な地域活動として提起されています。

出雲医療生活協同組合　第12回通常総代会開催のお知らせ

通常総代会を下記のとおり開催を致します。
日　時：2018年6月22日㈮　午後1時30分～午後4時30分まで
会　場：ラピタウエディングパレス　3F（出雲市今市町87）
総代定数：200名
選挙区と定員：中央32、東29、西45、南30、北38、全体区26
議題　2017年度の事業のまとめ（事業報告）
2018年度事業計画案
2017年度決算、利益処分案、2018年度予算案
役員選任議案、役員報酬限度額案、その他
総代選挙期間　4月2日㈪～5月11日㈮12時迄
総代選挙管理委員会